

平成30年度 第1回いじめ問題対策委員会 議事録

- 1 開催日時 平成30年4月19日(木)
- 2 開催場所 三島市役所中央町別館 2階第5会議室
- 3 出席者氏名 委員 鎌塚 優子 委員長  
土屋 賢太郎 委員  
三浦 興一郎 委員  
事務局 西島 玉枝 教育長  
長谷川 昭 学校教育課長  
西島 真美 学校教育課副参事  
横山 寛 学校教育課指導主事
- 4 会議の公開・非公開 公開
- 5 傍聴人の人数 0人

6 議事

(1) 第1号議案 平成30年度三島市いじめ問題対策委員会活動計画について

(2) 第2号議案 平成29年度三島市いじめの調査結果について

(委員質問) 印象で構わないが、街中にある小中学校と周辺部にある小中学校では、何かいじめの傾向が違うなど感じることはあるか。

(回答) 具体的な統計があるわけではないが、例えば、ある中学校内においても小学校が異なると嫌がらせのやり方がちがうことは経験上感じた。

(委員質問) 具体的にどのような違いがあるのか。

(回答) 例えば、目立ったところで暴力的というものはあまりなく、手紙を下駄箱に入れて嫌がらせをするなどが特定の小学校出身の生徒から見られた。

(3) 第3号議案 「三島市いじめ防止等のための基本的な方針」の改定について

(委員質問) 改定の経緯は。

(回答) 静岡県のおいじめ防止等のガイドラインの変更に基づいて三島市でも改定を行った。

(委員質問) いじめの問題で気になるのは加害者支援で、加害者になるような生徒はもともストレスを抱えるなど、家庭に問題がある場合が多く、早期からストレスマネジメントなど、予測される子に対して何らかの支援が必要だと思うが、医療の面でどうか。

(他委員) 医療の面で、発達障害圏の子どもさんたちは抑制がきかないなど、疾患・障害にからんで発生したいじめは、あまり、隠れてやらないと思うので、周囲が知っている事案になりやすい。問題なのは、ストレスの解消で悪意をもったものだと思うが、そちらは、悩んで具合が悪くなどはあまりないと思われる。疾患・障害に関連しない問題行動の場合は保護者のコントロールがあまりきいていないなど、どうにかしようとする意識が十分ではないのではないか。

(委員質問) ページ番号をはじめとして体裁は今度整えていくのか。

(回答) ここで、御意見をいただき、今後体裁を整えていきます。

#### (4) 第4号議案 重大事態対応の流れについて

(委員質問) 生徒への面談の手法や場所とか、部屋とかメンバーとか、どうなるのか。

(回答) 学校により状況は異なるが、相談室のような場所を確保したり、生徒たちが授業を受けている階以外の場所を利用したりする。

(委員質問) 取り調べみたいな雰囲気にならないか。

(回答) 日頃の教育相談(定期的な聞き取り)では、いじめについてだけでなく学習の課題など様々な内容について幅広く話す。また、いじめアンケートも併用するなどして確認している。

(委員質問) 面談は対策委員が子どもさんを取り囲む形にならないのか。

(回答) どのような形で聞き取りをするべきなのかという情報を頂きながら進めていくということである。

(回答) 担任が面談を行う場合もあるし、教育委員会が行う場合もある。必要において委員の皆様にご質問をしていただく場合もあるということである。また、その手法などについてアドバイスをいただければ。

(回答) 聞き取る者がどの位置に座ったら良いのかなど、生徒に圧迫感を与えないようにどのような手法が良いのか指導いただければ。

(委員質問) 記録には残すのか。

(回答) 許可を頂いた上で、記録するという形になる。

(委員質問) 被害者が、知的にやや課題がある場合や性的な被害の問題などは、聞き取りが難しいのでは。

(回答) 学級担任が寄り添ったり、スクールカウンセラーが相談にのったり、質問の内容を複数の教員で確認したりするなど、そのお子さんが極端に不利にならないように周囲の大人が配慮する必要がある。

(委員質問) 荒れている学校はあるのか。

(回答) 問題行動の発生件数なども、小学校はほぼ前年と同じ。中学校は減っており、三島市全体としては、落ち着いている学校が多い。油断してはいけないが、全体的には大きな問題行動もない。

(委員意見) 目立つ学校がないのか。

(回答) ないと思う。

(回答) 例えば、ゴミが多かったり、花壇に雑草がたくさん生えていたりなどはサインだが、今そうした学校は幸いにしてない。地域の方が学校支援本部として学校に入っていたりしている。子どもの顔がわかる地域の方がいるというのは効果があることだと実感している。

(委員質問) 先ほど中心部と周辺部というお話がありましたが、具体的にどんな印象か。

(他委員) 周辺部は素朴で底抜けに明るい。中心部の方が大人びていて若干冷めている部分がある。あいさつの声の大きさやタイミングが異なる。しかし、荒れているのかというとそうでない感じがするし、どちらかでいじめがある印象はない。話が少しずつれるが、中1くらいになると7割がスマホを持っているので、見えないところで起こっているのは、どうなのかと思う。

(回答) 中心部と周辺部という見方は新鮮だった。視点が共通項を求めているのか、あまり違いを感じていなかった。周辺と中央という見方ではなく、学校によって異なるという見方だった。

#### 事務連絡

「平成30年度三島市生徒指導主任・主事研修会及び第1回三島市不登校児等担当者会」について